

# ミステリ読書案内

2023. 10. 19 発行元

第522号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## 内田康夫「ベスト表」(再掲)

名探偵・浅見光彦シリーズで知られた内田康夫の『ベスト表』を再び取り上げてみることにする。全国各地を歩き回る「旅情ミステリ」が基本形。一定以上のレベルの仕上がりなので安心してお勧めすることができる。

### 「名探偵・浅見光彦シリーズ」

右に『ベスト表』を示してみた。前回提示したものとほとんど変わっていない。未読は5編のままで、こちらにも変わっていない。

以前の『代表作』の号では、『天河伝説殺人事件』、『「信濃の国」殺人事件』、『シーラカンス殺人事件』の三作を取り上げた。探偵ごとに一作ずつ選んでみたもの。今回は「浅見光彦シリーズ」から『長崎殺人事件』と『終幕のない殺人』の二作を取り上げてみることにした。

SNS上で調べるとテレビドラマの紹介がたくさん出てくる。(私は全く見たことがないのだが…)

「旅情ミステリ」として全国の名所が背景になるので、その点ではテレビ向きなのかもしれない。映像を見た人が本を買ってファンになってくれるといいと思う。本を読む読者が一人でも増えてくれることが私の望みなので。

内田康夫が亡くなってもう五年。関連本がぼつりぼつりと出ているようでもあり、まだまだ未来に残っていてほしい作品が揃っている。

### 「長崎殺人事件」

1987年光文社カッパノベルス。長編第十三作目。軽井沢に住む推理作家・内田康夫(軽井沢のセンセ)が初登場する作品。冒頭で、内田康夫のところに手紙が届き、浅見光彦に捜査を依頼したい旨の内容が書かれていた。手紙の主は長崎に住む松波春香。父親が殺人事件の犯人として逮捕されたので助けてほしいとの訴え。内田は光彦に連絡を取ろうとするのだが、彼は長崎に出掛けていると言う。事件は「カステラ連合組合」の会長である山岡庄次が夜路上で刺殺されたものである。前日、カラオケバーで口論となった春香の父親・公一郎が容疑者として浮かび警察に連れていかれたということ。兄・陽一郎の依頼で長崎で起きた連続殺人事件の調査をしていた光彦はこの事件にも興味を持ち、動き出す。グラバー園、蝶々夫人、三浦環…と長崎に纏わる話題が解決のためのヒントになっていく。

### 「終幕のない殺人」

1987年祥伝社ノンノベルス。私がこの作品を推すのは、内田作品としては珍しい「本格謎解きミステリ」だからである。「犯人当て」に使えるかな?と思えるような作りになっている。基本的には「館もの」の形を取っている。

大物俳優の加堂考次郎が箱根の別荘に十二人の有名芸能人と監視役としての浅見光彦を集めてパーティを開くという。実は過去二年間に不審な死亡事故が起きていて、加堂が不安になったので来てほしいというのだ。光彦は招待状の「御同伴で…」の文言に従って、幼馴染の野沢光子を伴って別荘を訪れる。時間になっても加堂は現れない。しかたなくパーティは開始されたが、間もなく「誰かが誰かを殺している…」という替え歌が会場に流れる。そして惨劇は始まった。永井という男優が毒を盛られて…。「内田流古典的探偵小説」を楽しんでもらえれば…。

### 《内田康夫作品のベスト表》

1. 天河伝説殺人事件
2. 平家伝説殺人事件
3. 津和野殺人事件
4. 天城峠殺人事件
5. 後鳥羽伝説殺人事件
6. 本因坊殺人事件
7. 江田島殺人事件
8. 神戸殺人事件
9. 死者の木霊
10. 長崎殺人事件
11. 佐渡伝説殺人事件
12. 軽井沢殺人事件
13. 十三の墓標
14. シーラカンス殺人事件
15. 白鳥殺人事件
16. 遠野殺人事件
17. 終幕のない殺人
18. 華の下にて
19. 箱庭
20. 王将たちの謝肉祭
21. 夏泊殺人岬
22. 日蓮伝説殺人事件
23. 箸墓幻想
24. 「須磨明石」殺人事件
25. 「紅蓮の女」殺人事件
26. 遺譜 浅見光彦最後の事件
27. 博多殺人事件
28. 風のなかの櫻香
29. 「信濃の国」殺人事件
30. 湯布院殺人事件
31. 鬼首殺人事件
32. 琥珀の道殺人事件
33. 「荻原朔太郎」の亡霊
34. 恐山殺人事件
35. 貴賓室の怪人・飛鳥編
36. 鄙の記憶
37. 藍色回廊殺人事件
38. 倉敷殺人事件
39. 戸隠伝説殺人事件
40. 隠岐伝説殺人事件
41. 十三の冥府
42. 伊香保殺人事件
43. 浅見光彦殺人事件
44. 皇女の霊柩
45. 中央構造帯
46. 高千穂伝説殺人事件